



令和6年5月29日

岐阜県立飛騨高山高等学校

国土交通省 高山国道事務所

ビオトープ“飛騨の森再生”におけるチョウ類調査 ～飛騨高山高校の2年生が初夏のチョウについて学習します～

PRポイント

道路内用地に創出したビオトープを活用し、高校生と協働で動植物の生息・生育環境創生の取り組みを行っています。

1. 概要：高山西IC内に設けたビオトープ“飛騨の森再生”において、平成22年度から飛騨高山高校生徒が環境学習を実施しています。
このたび、2年生29名が、初夏にみられるチョウ類の採集・識別調査を行います。
また、ビオトープ内の池での水生生物調査を行います。
2. 日時：令和6年 6月 3日（月） 13:30～15:30
※ 雨天の場合は6月4日（火）に延期します
3. 場所：中部縦貫自動車道高山清見道路 高山西インターチェンジ内
ビオトープ“飛騨の森再生”（高山市清見町牧ヶ洞地内）
4. 参加者：岐阜県立飛騨高山高等学校 環境科学科 2年生29名
5. 添付資料：別紙1～3のとおり
6. 配布先：高山記者クラブ
7. 問合せ先：岐阜県立飛騨高山高等学校 山田キャンパス
環境科学科 石黒 比利（いしぐろ ひとし）
TEL 0577-33-1060
FAX 0577-32-8994

国土交通省中部地方整備局 高山国道事務所
事業対策官 永富 達也（ながとみ たつや）
TEL 0577-36-3824
FAX 0577-36-3801
8. 取材申込：事前に、以下のQRコードのリンク先、またはURLよりお申し込みください。
URL：<https://forms.office.com/r/T1Mt79tgWj>

取材登録票QR



道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル **#9910** （通話料無料・24時間受付）

別紙一 1

学習内容

今回は、環境科学科2年生29名が参加して、ビオトープ内において初夏に見られる昆虫類（チョウなど）や水生生物（トンボのヤゴなど）の観察を行います。

チョウの仲間は昆虫の中でも生態や生息環境が比較的よくわかっており、調査の際にも見つけやすく、その場で種名を調べることができる生物です。こうした性質からチョウの仲間は環境の状況を確認する指標として使われることがあります。

水生生物は、水中や水辺を主な生息箇所としており、水質変化の影響を受けやすいことから、一部の種は水質の指標として使われことがあります。

チョウ類と水生生物の採集・識別実習

今回の学習では、チョウ類や水生生物の採集方法を学ぶとともに、チョウ類を指標とした陸域環境の評価や水域環境の考察を試みます。

過去の学習状況



チョウ類調査



水生生物調査



採取したヤゴ類

高山西ICのビオトープで見られるチョウ類

●森林性

森林的な環境（広葉樹林、針葉樹林、植林地、河畔林、薪炭林）を好む種。
幼虫が樹木の葉を食べて育ち、成虫の活動場所に森林を伴う。



ゴイシシジミ

●林縁性

森林周辺の環境（疎な林や森林周辺の草地）を好む種。
幼虫が森林周辺に生育する植物を利用する。



オオウラギンスジヒョウモン

●草地性

草原的な環境（河川の堤防や草地、耕作地）を好む種。
幼虫が草の葉を食べて育ち、成虫の主な活動場所が草地である。



ツバメシシジミ

高山西ICのビオトープで見られる水生生物



コシマゲンゴロウ



ドジョウ



アカハライモリ

別紙一 2

高山西ICビオトープ “飛騨の森再生”

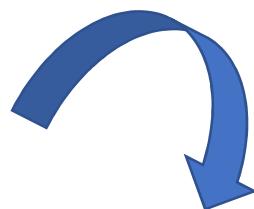
ビオトープ “飛騨の森再生” 整備

中部縦貫自動車道高山清見道路の建設により、動植物の生息・生育環境が大きく変化する可能性がありました。そのため、環境保全を目的として、インターチェンジ内にビオトープ『飛騨の森再生』を計画し、平成16年11月に高山清見道路（飛騨清見IC～高山西IC）の供用と同時に完成しました。

さらに、平成22年7月には、飛騨高山高校と高山国道事務所でビオトープの「維持管理に関する協定」を締結し、継続して動植物の生息・生育環境創生に取り組んでいます。



整備直後（平成16年11月）



整備20年後（令和6年4月）



整備20年後（令和6年5月）



整備20年後（令和6年5月）

ビオトープ “飛騨の森再生” 整備

完成してから20年が経過したビオトープに移植した根株・貴重植物共に生育状況は良好です。また、周辺域に分布する在来種もビオトープを利用しており、ビオトープ内には調整池や植生の変化に併せて、両生類（カエル）や昆虫類（チョウやトンボ、バッタ）などの定着が順調に進み、生物の多様化が進んできています。

飛騨高山高校との協働による継続的な維持管理活動により、貴重な植物が繁殖または再確認されるなど、様々な動植物の生息・生育環境が維持されています。

環境学習 実施位置図

実施場所：高山西IC内 ビオトープ「飛騨の森再生」

